

サービス利用料金表

2022年10月1日

①介護保険の給付対象となるサービス〔日額〕(負担割合1割の場合)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
基準単位	多床室	573 単位	641 単位	712 単位	780 単位	847 単位
	個室	573 単位	641 単位	712 単位	780 単位	847 単位
1. サービス 利用料金	多床室	5,987 円	6,698 円	7,440 円	8,151 円	8,851 円
	個室	5,987 円	6,698 円	7,440 円	8,151 円	8,851 円
2. 介護保険から 給付される金額	多床室	5,388 円	6,028 円	6,696 円	7,335 円	7,965 円
	個室	5,388 円	6,028 円	6,696 円	7,335 円	7,965 円
3. 自己負担額	多床室	599 円	670 円	744 円	816 円	886 円
	個室	599 円	670 円	744 円	816 円	886 円

※1 横須賀市は5級地となります。(1単位=10.45円)

※2 おむつ代・洗濯代は、介護保険の給付対象となっております。当施設が用意したおむつをご利用いただく際には、費用負担の必要はありません。

※3 介護保険負担割合証に記載された割合に応じた料金となります。確認の為、当園に介護保険負担割合証をご提示ください。

【ご利用料金の目安】(負担割合証 1割負担の場合) ※2割・3割負担の方は料金が異なります

多床室	区分	1段階	2段階	3段階①	3段階②	4段階
利用料金 居住費・食費込 (30日分)	要介護 1	31,145 円	44,945 円	52,745 円	74,045 円	100,745 円
	要介護 2	33,545 円	47,345 円	55,145 円	76,445 円	103,145 円
	要介護 3	36,052 円	49,852 円	57,652 円	78,952 円	105,652 円
	要介護 4	38,452 円	52,252 円	60,052 円	81,352 円	108,052 円
	要介護 5	40,818 円	54,618 円	62,418 円	83,718 円	110,418 円

※○加算込、△加算は除外しております。

従来型個室	区分	1段階	2段階	3段階①	3段階②	4段階(1号館)	4段階(2号館)
利用料金 居住費・食費込 (30日分)	要介護 1	40,745 円	46,445 円	66,245 円	87,545 円	108,245 円	114,245 円
	要介護 2	43,145 円	48,845 円	68,645 円	89,945 円	110,645 円	116,645 円
	要介護 3	45,652 円	51,352 円	71,152 円	92,452 円	113,152 円	119,152 円
	要介護 4	48,052 円	53,752 円	73,552 円	94,852 円	115,552 円	121,552 円
	要介護 5	50,418 円	56,118 円	75,918 円	97,218 円	117,918 円	123,918 円

※○加算込、△加算は除外しております。

【加算の説明】 入所者の状況や職員体制等により下記の加算が算出されます。

	加算項目	内 容	単位数
○	日常生活継続支援加算(Ⅰ)	新規入所者のうち要介護4・5の占める割合が70%以上であること、認知症日常生活自立度Ⅲ以上の割合が65%以上であること、又は たんの吸引等が必要な入所者の占める割合が15%以上いる場合 介護福祉士を入所者の数が7又はその端数を増すごとに1以上配置していること	36/日
○	看護体制加算(Ⅰ口)	常勤の看護師を1名以上配置していること	4/日
	看護体制加算(Ⅱ口)	入居者の25名を増すごとに1名以上の配置かつ最低基準を1名以上上回る看護職員を配置していること 看護職員との連携による24時間の連絡体制を確保していること	8/日
○	介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員の賃金の改善等を実施している場合(所定単位数の8.3%)	83/1,000
○	介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	介護職員の賃金の改善等を実施している場合(所定単位数の2.7%)	27/1,000
○	介護職員等ベースアップ等支援加算	介護職員の賃金の改善等を実施している場合(所定単位数の1.6%)	16/1,000
○	夜勤職員配置加算(Ⅰ口)	夜勤を行う介護職員・看護職員の数が、最低基準を1人以上上回っていること	13/日
	夜勤職員配置加算(Ⅲ口)	夜勤職員配置加算(Ⅱ口)の要件に加え、夜間の時間帯に看護職員を配置している又は、喀痰吸引等の実施ができる介護職員を配置していること	16/日
△	安全対策体制加算	外部の研修を受けた担当者が配置され、施設内に安全対策部門を設置し、組織的に安全対策を実施する体制が整備されている事 入所時に1回限り算定	20/初日のみ
△	初期加算	入居及び30日超の入院後の30日以内の期間	30/日
△	個別機能訓練加算(Ⅰ)	常勤の理学療法士等を1名以上配置 個別機能訓練計画に基づき計画的に訓練を行っている場合	12/日
△	個別機能訓練加算(Ⅱ)	個別機能訓練加算Ⅰを算定している入居者について、個別機能訓練計画の内容等の情報を厚生労働省に提出し、機能訓練の実施に当たって当該情報その他機能訓練の適切かつ有効な実施のために必要な情報を活用すること	20/月
	ADL維持等加算(Ⅰ)	イ 利用者期間が6月を超える者の総数が10名以上であること ロ 利用者等全員について評価対象利用機関の初月と当該月の翌月から起算して6月目において Barthel Iidixwowoを適切に評価できるものがADL値を測定し測定した日が属する月ごとに厚生労働省に提出していること ハ 評価対象利用開始月の翌月から起算して6月目の月に測定したADL値から評価対象利用開始月に測定したADL値を控除し、初月のADL値や要介護認定の状況等に応じた価値を加えて得た値について利用者等から調整済みADL利得の上位及び下位それぞれ1割の者を除いた者を評価対象利用者等とし、評価対象利用者等の調整済みADL利得を平均して得た値が1以上であること	30/月
	ADL維持等加算(Ⅱ)	ADL維持加算Ⅰのイ・ロの要件をきたすこと ハの評価対象利用者等の調整済みADL利得を平均して得た値が1以上であること	60/月
	自立支援促進加算	入居者の尊厳の維持及び自立支援にかかわるケアの質の向上を図るため、多職種共同による入居者が自立支援の促進を要する要因の分析を踏まえた計画書の作成、計画に基づく自立支援の促進、支援内容の評価、その結果を踏まえた計画書の見直しを継続的に入居者の尊厳を保持し自立支援に関わる質の管理を行った場合	300/月
	排せつ支援加算(Ⅰ)	イ 排せつに介護を要する入居者ごとに、要介護状態の軽減の見込みについて、医師または医師と連携した看護師が施設入所時に評価するとともに、少なくとも6月に一回、評価を行い、その評価結果等を厚生労働省に提出し排せつ支援に当たって当該情報等を活用していること ロ イの評価の結果適切な対応を行うことにより、要介護状態の軽減が見込まれる者について、医師、看護師、介護支援専門員等が共同して、排せつ介護を要する原因を分析し、それに基づいた支援計画を作成し、支援経過に基づく支援を継続して実施していること ハ イの評価に基づき少なくとも3月に一回入居者ごとに見直しをしていること	10/月

	加算項目	内 容	単位数
	排せつ支援加算(Ⅱ)	排せつ支援加算Ⅰの要件を満たしている施設において、適切な対応を行うことにより施設入所時と比較して、排尿・排便状態の少なくとも一方が改善するとともにいずれにも悪化がない または、おむつ使用ありから使用なしに改善していること	15/月
	排せつ支援加算(Ⅲ)	排せつ支援加算Ⅰの要件を満たしている施設において、適切な対応を行うことにより施設入所時と比較して、排尿・排便状態の少なくとも一方が改善するとともにいずれにも悪化がない かつ、おむつ使用ありから使用なしに改善していること	20/月
△	科学的介護推進体制加算(Ⅰ)	入居者ごとのADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況その他の入居者の心身の状況等に係る基本的な情報を厚生労働省に提出していること 必要に応じてサービスの計画を見直すなど、サービスを適切かつ有効に提供するために必要な情報を活用していること	40/月
△	科学的介護推進体制加算(Ⅱ)	科学的介護推進体制加算Ⅰの要件に加えて疾病の状等も厚生労働省に提出していること	50/月
△	経口維持加算(Ⅰ)	経口摂取において摂食機能障害や誤嚥を有し、医師または歯科医師の指示に基づき多職種が共同で食事の観察及び会議等を行い、入所者ごとに経口維持計画を作成し管理栄養士が栄養管理を行った場合	400/月
△	経口維持加算(Ⅱ)	経口摂取において摂食機能障害や誤嚥を有し、施設が協力歯科医療機関を定め経口維持加算(Ⅰ)においておこなう食事の観察及び会議に歯科医師、歯科衛生士が加わり経口維持加算(Ⅰ)を算定している場合	100/月
△	口腔衛生管理加算(Ⅰ)	歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が口腔ケアを月2回以上行った場合 口腔ケアについて介護職員に対し具体的な技術援助、助言及び指導を行った場合 介護職員からの相談等に必要に応じ対応した場合	90/月
△	口腔衛生管理加算(Ⅱ)	口腔衛生管理加算Ⅰの要件に加え、口腔衛生等の管理に関わる計画の内容等の情報を厚生労働省に提出し、口腔衛生等の管理の実施の当たって当該情報その他口腔衛生等の管理の適切かつ有効な実施のために必要な情報を活用していること	110/月
△	療養食加算	①食事提供が管理栄養士又は栄養士によって管理されていること ②疾病治療の直接的手段として、医師の発行する食事箋に基づき食事が提供された場合	6/回
△	看取り介護加算(Ⅰ)	死亡日45日前から31日前	72/日
		死亡日30日前から4日前	144/日
		死亡日の前日及び前々日	680/日
		死亡日	1,280/日
	看取り介護加算(Ⅱ)	死亡日45日前から31日前	72/日
		死亡日30日前から4日前	144/日
		死亡日の前日及び前々日	780/日
		死亡日	1,580/日
△	若年性認知症入所者受入加算	若年性認知症の場合	120/日
△	外泊時加算	入院又は外泊された場合(1ヶ月に6日を限度)	246/日
	認知症専門ケア加算Ⅰ	認知症Ⅲ以上のものが1/2以上、認知症研修修了者を最低4名を配置している場合	4/日
	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)	①入所者全体に対し褥瘡発生リスクについて施設入所時に評価するとともに、少なくとも3月に1回評価を行い、評価結果を厚生労働省に報告する ②①の評価結果、を元にリスクの高い入居者に対し医師、看護師その他専門職が入居者ごとに褥瘡管理に関する褥瘡ケア計画を作成すること ③管理内容や入居者の状態について少なくとも3月に1回、褥瘡ケア計画を見直すこと	3/月
	褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)の算定を満たしている施設において、施設入所時の評価の結果、褥瘡が発生するリスクがあるとされた入居者について、褥瘡の発生がないこと	13/月
	再入所時栄養連携加算	栄養マネジメントを算定しており、経管栄養又は嚥下調整食の新規導入時に管理栄養士が医療機関と連携した場合	200/回

※基準単位以外で○のある部分は、全員に加算されます。

※基準単位以外で△のある部分は、ご利用された場合に個人に加算されます。

※基準単位以外で印のない部分は、体制が整いご利用された場合に個人に加算されます。

②介護保険の給付対象とならないサービス

【居住費・食費】〔日額〕

利用者負担段階		食費	居住費	
第1段階	世帯全員が 市民税 非課税 の方	老齢福祉年金受給者又は生活保護受給者	300円	多床室 0円 個室 320円
第2段階		課税年金収入+合計所得金額が80万円以下	390円	多床室 370円 個室 420円
第3段階①		年金収入額+合計所得金額が 80万円超120万円以下の人	650円	多床室 370円 個室 820円
第3段階②		年金収入額+合計所得金額が 120万円超の人	1,360円	多床室 370円 個室 820円
第4段階	上記以外の方	1,660円	多床室 960円 個室(1号館) 1,210円 個室(2号館) 1,410円	

※1 利用者負担段階は、市へ申請し所得等により適用されます。(負担限度額認定証をご提示ください。)

※2 その他の食費、おやつ代は提供時に算定されます。なお、負担段階は適用されません。

※3 第1～第3段階の方も、入院・外泊加算対象期間を超えた場合の居住費は、第4段階の金額になります。

【その他のサービス】

サービス内容	利用料金	税区分
①外出時等の付き添い(近隣の散歩は除く) ご契約者の希望による外出時等の付き添いをいたします。	職員1名につき、30分毎 800円	内税
②外出時の駐車場、有料道路、ガソリン等の費用	実費	—
③診療・薬剤・その他治療に要する費用	本人負担額	—
④代行 ご家族等が対応できない場合に限り、ご契約者に代わって買い物等の代行を行います。	購入金額の実費及び代行料金800円	内税
⑤理容 月2回(第2火曜日・第3月曜日)、理容師の出張による 理髪サービス(調髪、顔剃)をご利用頂けます。	調髪1,500円、顔剃500円 (※事業者料金表による)	内税
⑥おやつ代	1回 110円	税込
⑦その他の食費	実費	—
⑧外出・趣味活動 ご契約者のご希望による外出行事・趣味活動に参加して頂けます。 行事 : 遠足(随時)、地域交流外出行事(随時) 趣味活動 : 手芸、工作等	係る費用、材料代等の実費	—
⑨複写物の交付 ご契約者のご希望により、書類等のコピーを行なった際は実費相当分としての金額をご負担頂きます	モノクロB5/A4/B4/A3 1枚 11円 フルカラーB5/A4/B4 1枚 55円 フルカラーA3 1枚 88円	税込
⑩破損修理 ご契約者の責による器物の破損においては、修理に係る実費をご負担頂く場合があります。	実費	—
⑪電気使用料 ご契約者の希望により、電気製品をお持込みになり、施設の電源を使用する場合電気使用料をご負担頂きます。冷蔵庫、冷暖房器具(電気毛布、電気あんか等、電気ストーブ類)、加湿器、空気清浄器	1品目につき、1ヶ月330円	税込
その他、電気製品	1品目につき、1ヶ月110円	税込
⑫日常生活用品等	別紙『横須賀愛光園物品提供希望一覧』参照	

☆単位から利用料金を算出する計算方法(30日利用の場合)

<例:要介護4、多床室、1割負担>

- ① (基本単位780単位+加算(単位/日36単位+13単位+4単位)×30日)+加算(単位/月)40単位=25,030単位
- ② 25,030単位×介護職員処遇改善加算8.3%(0.083)=2,077.49単位(小数点以下の端数四捨五入)=2,077単位
- ③ 25,030単位×介護職員等特定処遇改善加算2.7%(0.027)=675.81単位(小数点以下の端数四捨五入)=676単位
- ④ 25,030単位×介護職員等ベースアップ等支援加算1.6%(0.016)=400.48(小数点以下の端数四捨五入)=400単位
- ⑤ (①+②+③+④)=28,183単位)×10.45(地域加算)=294,512円(小数点以下切捨て)
- ⑥ 294,512円×0.9(介護保険給付9割)=265,060円(小数点以下切捨て)
- ⑦ 294,512円(介護保険利用金額)-265,060円(介護保険給付額)=29,452円(30日あたりの自己負担額)